

◆平成21事業年度のトピックス

■iPS細胞研究所の設置

本邦発のiPS(人工多能性幹)細胞研究を更に拡大し、再生医療への応用を推進するには、中長期的な研究戦略に基づき、基礎研究から前臨床研究および臨床研究へと、シームレスに研究を進めていく必要があります。これらを実現するために、iPS細胞研究の世界的拠点として、本学14番目の附置研究所である「iPS細胞研究所」を、平成22年4月に設立することとなりました。

そのための研究棟として、地上5階、地下1階、延床面積約1万2千平方メートルの新棟が、平成22年2月に完成しました。特徴的な施設として、生体内での細胞の働きや効果を検証するための動物実験施設や、品質の保証された細胞を作製、培養するための細胞調製施設等が設けられています。また仕切りのないオープンラボの採用により、研究に関する情報や成果の共有、研究者同士の意見交換が行いやすく、効率的に研究を進めることのできる環境が実現されています。



iPS細胞研究所外観(写真上)とその内部(写真下)

■京都大学東京オフィスの開設

本学の東京地区における情報発信および収集の拠点として、平成21年9月、品川インターシティA棟27階に、京都大学東京オフィスを開設しました。

平成21年11月には、「京都大学オープンキャンパス in TOKYO」を開催し、首都圏の受験者や学校関係者に対し、本学の紹介や入試相談、文系・理系学部教員による模擬授業等を行いました。

また、毎月1回「京都大学附置研究所・センター品川セミナー」を開催し、学問の最先端の様子を、広く学生や一般の方々にお届けしている他、同窓会や産官学連携シンポジウム、就職支援相談会等の各種イベントを通じて、活発に情報の発信・収集を行っています。

東京オフィスの利用を希望される方は、ホームページをご覧ください。(http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/tokyo-office)



東京オフィスでのオープンキャンパスの様子

■宇治おうばくプラザ竣工

宇治おうばくプラザは、本学の中期目標・中期計画に基づき策定した「京都大学重点事業アクションプラン2006～2009」において、学生支援事業として建設が計画されたものです。大学院学生・留学生・研究員等が集う研究施設として、また国際会議や学会等を常時開催できる施設として、300人を収容するホールのほか交流スペースやレストラン、コンビニエンスストアなどの福利厚生施設も兼ね備えた、地域住民および社会との活発な交流が可能な開放的施設として建設されました。

本施設により、宇治キャンパスが本学の学生や教職員だけでなく、地域や学外・海外から訪問されるの方々にとっても、より親しみやすい存在に生まれ変わることが期待されます。



宇治おうばくプラザ外観

■若手研究者等への支援の取り組み

●本学では、次代を担う若手研究者がその能力を発揮できるように、若手研究者支援事業を積極的に推進しています。

○京都大学次世代研究者育成支援事業「白眉プロジェクト」

次世代を担う先見的な研究者を育成するため、学内・学外を問わず公募により「白眉」と呼びうる優秀な若手研究者を年俸制特定教員として採用し、最長5年間、自由な研究環境を与えて全学的に支援する、京都大学次世代研究者育成支援事業「白眉プロジェクト」を創設しました。平成21年度の公募には、588名の応募があり、学内外の有識者から構成される選考委員会「伯楽会議」や、次世代研究者育成センター運営委員会において、厳正な審査を行った結果、18名の採用を決定しました。

○京都大学若手研究者スタートアップ研究費

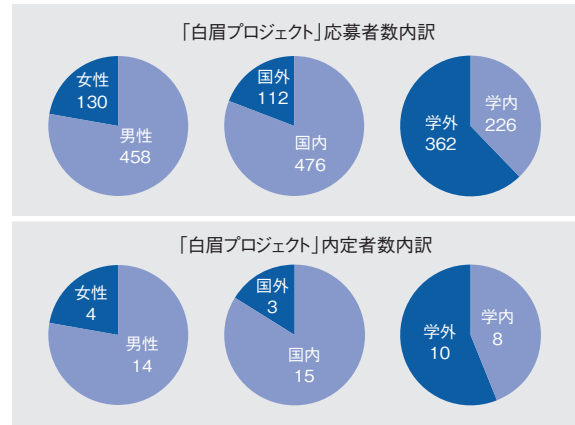
38歳以下または研究歴が10年未満の研究者等を対象として、今後の競争的資金の獲得に結びつく研究に取り組んでいけるよう、研究費の措置をしています。平成21事業年度は、115件 約3,500万円を採択しました。

○京都大学若手研究者ステップアップ研究費

研究キャリアを積んだ38歳以下の若手研究者の意欲的な活動を支援し、比較的大型の研究費の獲得に繋がるよう、研究費の措置をしています。平成21事業年度は、20件 約3,500万円を採択しました。

○京都大学優秀女性研究者賞「たちばな賞」

優れた研究成果を挙げた若手女性研究者を顕彰し、当該若手研究者やこれに続く女性研究者の研究意欲を高め、学術研究の将来を担う優れた女性研究者の育成等を目的として平成20年度に創



「白眉プロジェクト」採用者と山中伸弥iPS細胞研究所長との懇談

設しました。平成21年度には、学生部門・研究者部門から2名の受賞者を決定し、表彰を行いました。

■京都大学学術情報リポジトリ「KURENAI」が国内第1位

スペイン高等科学研究院が公開している世界の機関リポジトリ・ランキング(平成21年7月)において、京都大学学術情報リポジトリ「KURENAI」は国内第1位の評価を得ました。

これは、検索のされやすさ、収録論文数の多さ等の指標により、世界中のリポジトリを定量的に評価したもので、大学が自機関の研究成果の発信に熱心かどうかを測る目安となっています。本学は引き続き研究・教育成果の発信に努めてまいります。

「KURENAI」は、京都大学内で生産された知的生産物(学術雑誌



掲載論文、学位論文、紀要等)を蓄積し、どなたでも無料で読めるようインターネット上で公開しています。

(<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>)

■施設の整備

平成21事業年度は、国際競争力強化のための世界トップレベルの教育研究拠点の整備を図り、iPS細胞研究所の新営工事等を行いました。また補正予算の措置を受け、遅れていた大規模地震による倒壊の危険性の高い施設に対する耐震機能改修や、最先端研究施設の整備、太陽光発電設備の導入等を図り、数理解析研究所、教育学部本館等の耐震機能改修工事等を実施し、合計約150億円を施設費として計上しました。



数理解析研究所



教育学部本館

重点事業経費について

各種戦略的経費

京都大学では、教育・研究・医療活動の個性化と活性化のために戦略的・重点的に配分する経費を充実させ、総長および役員会のイニシアティブと責任によって特定課題の教育・研究・医療活動ならびにそれらを支える基盤体制へ重点的に予算を配分しています。

京都大学重点事業アクションプラン

京都大学では、第1期中期目標期間(平成16年度～21年度)に、「教育」、「研究」、「学生支援」、「医療支援」、「広報・社会連携」および「基盤整備」等の事業を総合的に推進していくため「京都大学重点事業アクションプラン2006～2009」を策定し、さまざまな事業を行ってきました。

この「京都大学重点事業アクションプラン2006～2009」は、上記各種戦略的経費のうち、重点戦略経費および目的積立金により実施されました。特に、目的積立金は、本学の運営努力によって生じた利益(繰越金)であり、これを有効に活用することで単年の予算では実施できないような大型事業を実施することができました。

京都大学重点事業アクションプラン2006～2009 【平成18～21年度着手決定事業】	
教育推進事業	KULASIS(教務情報システム)の全学展開事業 教育環境改善事業 オープンコースウェア(OCW)支援事業 教育国際化推進事業
研究推進事業	若手研究者支援事業 女性研究者支援事業 研究推進戦略活性化事業 国際学生交流・国際研究推進事業 シニア・コア研究者フォローアップ事業 研究者総覧データベース活用促進事業 世界トップレベル研究拠点融合研究加速支援事業 大型教育研究設備等の整備 京都大学次世代研究者育成支援事業「白眉プロジェクト」
学生支援事業	全国七大学総合体育大会関連施設・設備の整備 学生福利厚生設備の整備 学生交流スペースの整備 身体障害学生支援強化事業 キャリア支援の拡充事業 屋外課外活動施設の整備 課外活動施設(ボックス棟)の整備 「白浜の家」の整備 京都大学宇治おうぼくプラザの整備 附属図書館教育研究支援環境の整備 留学生受入のための環境づくり ～ 宿舍の確保～ 吉田南構内再生整備(学生寄宿舎)
医療支援事業	看護体制の拡充支援事業 基盤的診療設備の整備
広報・社会連携事業	全学同窓会支援事業 ビジュアルな大学広報事業 名勝清風荘庭園の保存・活用整備事業
基盤整備事業等	環境マネジメントシステム構築事業 男女共同参画推進事業 事務改革推進事業 就業管理システム構築事業 海外の大学の財務状況調査と財務戦略施策の公募事業 施設耐震診断事業 メンタルヘルス対策プロジェクト 危機管理体制の整備 耐震化推進事業に伴う工学部土木総合館の整備 職員宿舎の整備 桂キャンパス整備事業 全学認証システム構築事業 学術情報ネットワーク(KUINS)の整備 耐震化推進事業に伴う分子工学実験研究棟の整備 病院構内マスタープランに基づく環境整備 寄附病棟(積棟)にかかる整備事業 旧演習林事務室の全学施設への再生整備 吉田南構内再生整備(国際交流拠点) 楽友会館再生事業

平成22年度 各種戦略的経費

戦略的経費	全学共通経費	本学の教育研究医療活動を一層発展させるため、大学として支援が必要な事業に措置するための経費
	特別協力経費	各部署等の教育研究医療活動を一層発展させるため、大学としての協力を必要とする事業に措置するための経費
	設備整備経費	各部署における教育研究医療活動全般に対する設備(概ね1億円以下)を整備するための経費
	総長裁量経費	総長のリーダーシップにより教育研究の一層の充実発展を図るための経費
	重点戦略経費	第二期重点事業実施計画 教育研究及び診療の質の向上並びに組織運営の改善に充てる第二期重点事業実施計画実現のための経費
	第一期からの繰越積立金(目的積立金)	
	各所建物の修繕経費	教育・研究・医療活動の基盤である施設等を、長期にわたり良好な状態で維持管理するため、修繕等を計画的かつ効率的に実施するための経費
	部局運営活性化経費	基盤教育研究経費の一定割合分を留保し、本学の教育研究活動の更なる活性化に繋がる各部署の積極的な活動や特色ある取り組みなどに対して、インセンティブの附与として再配分する経費
	産官学連携推進経費	産官学連携の推進に向けた取り組みを支援するための経費
	基盤強化経費	全学機構や全学施設(寄附建物含む)の業務を通正かつ機動的に実施するため、運営等に必要経費 教育研究活動の基盤となる大型設備等を支障なく稼働させるために必要な維持管理経費
学内貸付金	部局において、資金調達が困難な施設・設備の整備等のために、一時的に多額の資金を必要とする事業計画を支援するための資金	

京都大学第二期重点事業実施計画

第2期中期目標期間(平成22年度～27年度)においても、短期的・個別的な視点に留まることなく、中・長期的及び全学的視点から大学を運営するため、「京都大学第二期重点事業実施計画」を策定しました。本計画では、独自の授業料免除による経済的支援、次世代を担う若手研究者の育成支援、若手研究者による小中高等学校での出前授業、桂キャンパスの整備、国際化事業の更なる推進、女性研究者の採用促進の支援、京都大学ブランドの構築に向けた新しい情報発信の展開など、様々な事業に取り組んでいく予定です。

京都大学第二期重点事業実施計画

【平成22～23年度着手決定事業】

教育推進事業	オープンコースウェア(OCW)支援事業 教育国際化推進事業 教育環境改善事業 小中高連携推進事業 ～サイエンス・コミュニケーター・プロジェクト～
研究推進事業	研究推進戦略活性化事業 若手研究者支援事業 女性研究者養成事業 シニア・コア研究者フォローアップ事業 京都大学次世代研究者育成支援事業 ～白眉プロジェクト～ 世界トップレベル研究拠点融合研究加速支援事業 研究支援体制強化プロジェクト 国際化戦略推進事業
学生支援事業	キャリア支援充実化事業 経済的支援強化事業 身体障害学生支援強化事業 吉田南構内再生整備事業 ～学生寄宿舎の整備～
広報・社会連携事業	全学同窓会支援事業 戦略的情報発信強化事業 ～京都大学ブランドの構築にむけて～ 名勝清風荘庭園の保存・活用整備事業
基盤整備事業等	事務改革推進事業 男女共同参画推進事業 楽友会館等再生整備事業 職員宿舎整備事業(第2次) 環境マネジメントシステム推進事業 ～環境賦課金制度を中心とした環境負荷の低減～ 桂キャンパス整備事業 旧演習林事務室全学共用化整備事業 吉田南構内再生整備事業 ～国際交流拠点施設の整備～